

助けあい、励ましあい、  
志高く【共助】



# 【小学校1年～3年】 避難所生活で大切なこと

## ◆カリキュラム・マネジメントの視点

学校行事「避難訓練」



学級活動「避難所生活で大切なこと」



道徳「思いやり」

◆ねらい 避難所生活を送る被災者の気持ちを理解し、相手の視点に立った行動を考えることができる。

## ◆展 開

	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価
導 入 10 分	1 心のケアを受ける。(本手引P2参照)  2 熊本地震における避難所の写真を見て、避難所生活について考える。 ★ 避難所で生活する人々の様子について、気付いたことを教えてください。	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価 ○児童の心身の状態に十分配慮する。  ○何枚かの避難所の写真や絵を見せ、避難所生活を送る人々の様子から気付いたことを発表させる。
ひなんじょせいかつで、たいせつなことを かんがえよう。		
展 開 25 分	3 身を寄せ合って生活する人々や列を作って並んで待つ人々の気持ちについて考える。 ★ 避難所の人たちは、どんな気持ちで生活しているか考えましょう。	○いろいろな人と一緒に生活する避難所では、自分の家で生活するのとは違うため、つらさや不安があることに気付かせる。 ◎ <u>避難所での人々の様子から、思いやりの心を持ち、お互いに助け合い、ルールを守っている姿に共感させる。</u>
ま と め 10 分	4 避難所生活で自分にできることについて話し合う。 ★ 避難所では、みんなが気持ちよく生活するためにどんなことができるかを考えましょう。	○実際に避難所生活を経験した児童がいる場合は、自分たちががんばったことを発表させる。 ◎ <u>あいさつ、声の大きさ、高齢者への親切など周囲への気配りや思いやりのある行動の大切さを、日常生活とも関連させながら理解させる。</u> ○避難所にはいろいろな人(妊婦、幼児、高齢者や外国人など)がいることをおさえ、自分にできることを考えさせる。 ◆避難所生活で、お互いを尊重し生活するために大切なことを考えている。 【思考・判断・表現】〈観察・ワークシート〉 ◎ <u>児童の実態や発達段階に応じて、ふだんの生活でもルールを守ることや自分にできることを進んで行うことの大切さをおさえる。</u>
	5 避難所生活で大切なことをまとめる。	
	6 心のケアを受ける。(本手引P2参照)	○児童の心身の状態に十分配慮する。

## 活用資料等

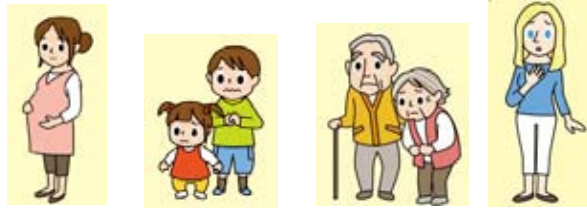
- ・熊本地震に係る避難所の画像等
- ・保存版「防災ハンドブック」(熊本県危機管理防災課H28)

# ワークシート

( ) ねん ( ) くみ ( ) ごう なまえ ( )

めあて

1 ひなんじょで せいかつする ひとたちの きもちを かんがえましょう。



2 ひなんじょで じぶんに できそうなことを はなしあいましょう。

## ワークシート（記入例）

（ ）ねん（ ）くみ（ ）ごう なまえ（ ）

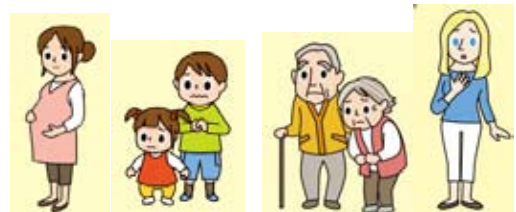
めあて

ひなんじょせいかつで、たいせつなことを かんがえよう。

1 ひなんじょで せいかつする ひとたちの きもちを かんがえましょう。

- 知らない ひとが たくさんいて、ゆっくり できないよ。
- にもつが いっぱい あって せまいよ。
- いつまで このひなんじょで せいかつするのかな。
- はやく いえに かえりたいよ。
- しょくじの おせわなどを してくれる ひとが いるから、うれしいね。
- きもちよく しょくじが できるように れつの じゅんばんを まもろう。
- みんなで たすけあって せいかつしよう。

など



2 ひなんじょで じぶんに できそうなことを はなしあいましょう。

- みんなが げんきになるように、あかるい あいさつをしたい。
- ちいさい この めんどうを みると、おとなの ひとも たすかるよ。
- おとしよりや こまっている ひとに やさしくしたい。
- がいこくじんが こまっていたら、おとなの ひとを よんであげよう。
- こえの おおきさに きを つけよう。
- はしりまわらずに、しずかに すごしたほうが いい。
- じぶんたちが つかったものは もとの ばしょに きちんと かたづけよう。
- そうじの てつだいが できるよ。
- てあらいや うがいなど けんこうにも きを つけたい。
- みんなのことを かんがえて、おもいやりの ところで たすけあいたい。

など

※実際に避難所生活を経験した児童がいる場合は、自分たちががんばったことをもとにして話し合いを進める。



資料

◎へいせい28ねん くまもとじしん ひなんじょの ようす



ひなんじょには、いろいろなひとがあつまっています。  
みんながきもちよくせいかつするために、どんなことができそうですか。

にんぷ



ちいさいこども



おとしより



がいこくじん



提供：防災ハンドブック（熊本県）